

特集 未踏ユースから育ったタレントたち

4

ネットワーク形成システムとしての未踏

西尾 泰和 サイボウズ・ラボ (株)

正会員. 1981年生. 2007年よりサイボウズ・ラボ. 人工知能学会, 日本自閉症スペクトラム学会各会員. 初年度未踏コース, スーパークリエイター認定. 24歳で博士(理学). 続きはWebで. <http://www.nishiohirokazu.org/>. www@nishiohirokazu.org

私の未踏との出会いは, 大学2年の夏, 和田健之介氏のプロジェクト¹⁾で, 電磁気や進化の実験のための仮想世界を作ったこと, そして彼に教わって興味を持ち, 未踏ユースでゲノム情報の可視化ソフトを開発したことだ. その後, 数学的構造の美しさを可視化したCG作品で受賞したり, 高機能自閉症に関心を持ったり²⁾, 東工大の技術経営戦略分野で社会科学を学んだりしている.

面白いものを生み出すには異分野の結合が重要だ. かつては私は自分が複数分野を学ぶことが必須だと考えていたが, 最近は得意分野の異なる人たちをつなぎあわせてコミュニティ(COM)を作ることでも実現できると考えている. どうつなぐのがよいだろうか? 人間の認知能力には限界があり, 大きすぎるCOMでは結合が疎になる. また, 共に何かを行うには相手を信用できることも重要であり, それには共通の友人の存在が有効だ³⁾. COMの外との人間関係が新しい情報の獲得に重要である⁴⁾こともあわせると, 小規模で密なCOMが, 両方に属する個人を介してつながりあうネットワーク構造(NW)が好ましい(図-1).

幸い, 未踏ユースにはNWを作り出すシステムがあった. ブースト会議だ. これが同期の横糸と採択年度の異なるOBとの縦糸を編み上げNWを形成した. このNWからは, いくつもの面白い成果が生まれており, 私は今後も生まれ続けると信じている. このようなNWを増やせば世界はもっと面白くなるだろう. そこで事例を3つ紹介する.

1つ目, セキュリティ&プログラミングキャンプは, IT意識の向上を狙った, 22歳以下の若者を対象とするIPAの事業である. 全国から選抜された60人が5つのクラスに分かれ異なる専門分野について合宿形式で学ぶ. 私はプログラミング言語クラスのクラス長として参加したが, 参加者の感想に感銘を受けたので紹介したい. それは「自分とプロトコルの合う友だちが見つかった」だ. 専門クラス内での交流, キャンプ全体としての交流で出会いの機会を作る. さらに, 選抜されたOBが参加者のサポートをする仕組みで, 採択年度を越えたつながりを作る. 合宿形式で同じ釜の飯を食うことも重要な要素だろう. これらの施策により参加者は, 興味の一致した人だけではなく, 専

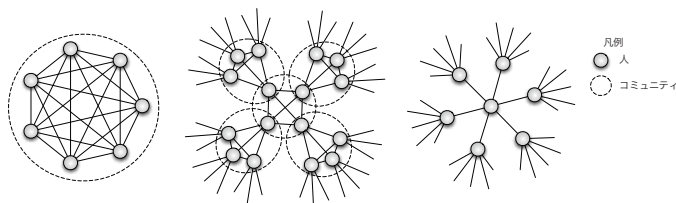


図-1 コミュニティの構造

認知能力の限界を各点の位数が6であることで表現している. 左: 密だが情報流通の範囲が狭い構造. 中: 小さな密コミュニティがつながりあうネットワーク構造. 右: 情報流通は広いが1対1の関係のため囚人のジレンマに脆弱な構造.

門の異なる人ともNWを形成できる.

2つ目, シリコンバレーの有力ベンチャーキャピタルであるY Combinator(YC)もまたNW形成を重視している. Dropboxを創業したDrew Houstonは「YCには非常に素晴らしい同期生たちのNWがある(略)この価値は過小評価されている」と語っている⁵⁾. YCの出資額が未踏と同程度(3人で2万ドル)という点も興味深い. 金額ではなくNW形成が重要なのだ.

3つ目, サイボウズ・ラボユースは, 弊社(サイボウズ)が今年から始めた若手エンジニア育成事業である. 開発合宿という形で採択者を集めNW形成を図っている. まだ始まったばかりの事業なので至らない点もあるだろうが, 今後この事業から何か面白いものが生まれると期待したい.

行われつつあるNW形成について3つの事例を紹介した. 日本中の面白い人たちの間でNW形成が盛んになれば, きっともっと面白い世界になるだろう. みなさんにもできることがあるはずだ. この記事が一助となれば幸いである.

参考文献

- 1) 平成13年度未踏ソフトウェア創造事業 竹内6-61 和田, <http://bit.ly/oFpb8t>
- 2) コンピュータは世界を広げる実験道具 西尾泰和さんのエンジニアライフ - 特集: No okyuu, No Life, <http://bit.ly/qAdbs6>
- 3) Binmore, K.: Review of The Complexity of Cooperation (by Robert Axelrod), Journal of Artificial Societies and Social Simulation (1998).
- 4) Granovetter, M. S.: The Strength of Weak Ties, The American Journal of Sociology, 78(6): pp.1360-1380 (1973).
- 5) なぜY Combinatorだけ特別? Dropbox創業者に聞いた - @IT, <http://bit.ly/idoMXn>

(2011年9月15日受付)